

普及活動検討会実施報告書

気仙沼農業改良普及センター
 実施月日：令和8年9月1日
 実施場所：JA新みやぎ本吉支店

1 検討内容

No	検 討 項 目
1	プロ課題 No. 1 「ぶどう栽培者の技術力向上による生産拡大」

2 検討委員の構成

(単位：人)

区 分	人数	区 分	人数
先進的な農業者	1	生 活 者	1
若手・女性農業者		学識経験者	
市 町 村	2	マスコミ	1
農業関係団体	1	民間企業	

3 委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
プロ課題 No. 1 「ぶどう栽培者の技術力向上による生産拡大」	4.0	- 既存の栽培者の育成と新規栽培者の確保を両立することは難しいと考える。まずは既存の栽培者の栽培スキル平準化を図るべきと考える。 - 新規栽培者を増やすためには、魅力（採算性）が不可欠と考える。空きハウスの利用や、育苗後の活用などの提案について、実現に向け検討願う。 - 気仙沼市及び南三陸町の共通栽培品目として推進し、栽培面積の拡大化や南三陸地区の新しいブランド化を期待する。 - 普及センターとして、どこまで対象者への伴走支援を行うのか不明であり不安な部分がある。	- 集合の栽培研修会については、新規栽培者も含めた全体のレベルアップのため、必要と考えており、引き続き栽培研修会の開催による支援を行ってまいります。一定の経験年数を有している既存の栽培者については、個別指導を行いながら、会の牽引者として栽培技術の向上と平準化を支援してまいります。 - 採算性を示せるよう経費等については、今年度後半に聞き取り等を行ってまいります。また、農協や町と情報共有しながら、空きハウスの活用に向けて進めてまいります。 - 関係機関と連携し、今後も栽培面積の拡大化やブランド化に向けた支援を行ってまいります。 - 栽培技術支援は今後も継続的に実施してまいります。対象としている協議会が自ら産地化に取り組むよう、バランスを取りながら働きかけを行ってまいります。

		・流通に関しては直売以外の販路が課題と考える。	・生産量が増加した場合に備えて、販路については市場出荷も含めて農協等、関係機関とも検討してまいります。
--	--	---	---